



# カフェ・タイムマシン



さとまる

## episode 1 忘れ物

---

本を片手にいつものカフェへ。

お気に入りの席に向かうと、テーブルには赤いセルフレームのメガネがぽつんと。  
忘れ物だとそれを取りに来たのは、誰かに似た女性。

2時間ほどゆっくり読書を楽しんで、カフェを出た。

あ。メガネ忘れた。

慌ててカフェに戻る。席にいるのは赤いセルフレームのメガネをかけた、私に似た女性。

そこは「カフェ・タイムマシン」。

(2010.12.1)

## Episode 2 幸せそうなカップル

---

あのね。

私ね、あなたと初めて会ったときに、なぜか「懐かしい」って思ったの。

不思議でしょ。でね、なんでそう思ったんだろうってずっと気になってたんだけど、思い出した。

ここ、学生の頃からよく来てたカフェでね。ずっと前に、ここでとても幸せそうなカップルを見たの。私もいつか恋人ができたらあんな風になりたいな、って憧れるような。

あのときのカップルの男性と、あなたがそっくりなんだわ。

.....あ、ほら、女の子が入ってきた。あの子、あの頃の私に、似てる。

ね、見せつけちゃおうよ。あの子が将来あなたと巡り会えるように。

ここは「カフェ・タイムマシン」。

(2010.12.2)

### Episode 3 時間を忘れて.....

---

時間に余裕があったので、目に止まったカフェに入った。  
コーヒーを頼み、少しだけ、と思いつつ読みかけの本を開く。  
気をつけないと本に熱中して時間を忘れるのは俺の悪い癖だ。  
今日も遅刻したら今度こそ彼女に愛想を尽かされてしまう。  
でも今読んでるこれ、いよいよおもしろくなってきたところなんだよなあ。

「おまたせいたしました」

お、ここ、コーヒーうまいな。

.....

よーし読み終わった！！ おもしろかった！

.....って。しまった！ またやっちまった！ 大遅刻！！

慌ててカフェを飛び出して腕時計を見ると、待ち合わせにはギリギリ間に合う時間。.....えっ？

振り返ると、看板には「カフェ・タイムマシン」。

(2011.2.19)